

2022年度より開講

# AI・データサイエンス 教育プログラム

第1期  
受講生  
募集!!

※ 2021年4月入学生対象

中央大学では2022年4月からAI・データサイエンス教育プログラム iDS がスタートします。本プログラムは、**文系・理系を問わず**必要とされているデータサイエンスやAIの技術・知識を**各分野で活用できる力**を身につけるための**学部横断的プログラム**です。

本プログラムの中心となる**AI・データサイエンス演習**は**3年間のゼミでの課題解決型学習**です。各ゼミのテーマに沿って、データに基づいた課題発見やその解決を目指します。

このAI・データサイエンス演習に加えて各学部に設置されているデータ活用系の科目などで所定の要件を満たすとプログラム修了の証である**オープンバッジ**（修了証）を発行します。

**受付期間** ~ **2021年12月13日**（月）10:00 AM

**修了要件** **22単位** **演習の各ゼミの内容は次ページを参照**

演習科目	10単位必修（12単位が標準）	AI・データサイエンス演習（遠隔授業 ※一部対面授業を行なう可能性もあり）
講義科目	基幹科目（2単位必修）	AI・データサイエンスツールI~IV
	関連科目（6単位必修）	AI・データサイエンス総合、データ活用に関わる各学部設置科目

**申込**

manaba コース「AI・データサイエンス演習A受付」

[https://room.chuo-u.ac.jp/ct/course\\_3065669](https://room.chuo-u.ac.jp/ct/course_3065669)



**お問合せ**

全学連携教育機構事務室 042-674-3663

E-mail [aidatascience-grp@g.chuo-u.ac.jp](mailto:aidatascience-grp@g.chuo-u.ac.jp)

Chuo University

**iDS**

Intermediate Program for Data Science and AI

# AI・データサイエンス演習

データは「現代社会を支える石油」と表現されるほど不可欠な資源です。スマートフォンを持って歩いたり、電子決済をしたり、メッセージを送ったり、ウェブサイトを見たり。わたしたちの生活に関わるあらゆるものがデータ化されています。そしてAI・データサイエンスの技術を活用してデータから知識や知恵を得て、私達の生活のさらなる向上に役立っています。

データ活用は特定の分野・業界だけではなく、あらゆる場面で必要とされています。未知のウイルスと戦うために。災害に強い都市を開発するために。日本の抱える少子高齢化、人口減少といった大きな課題に対して、効果的な政策を立案し実行するために。持続可能な国際社会を構築し、経済発展をしていくために。豊かで楽しく、希望に満ち溢れた未来社会を創るために。

「AI・データサイエンス演習」は3年間のゼミ活動の場です。ゼミにより活動のフィールドや題材は異なりますが、データの収集・分析・考察・活用という活動を通じて、データに基づいて課題発見・課題解決ができる力を身につけていきます。ゼミでは課外活動を含めた主体的な学びが求められます。決して楽な道のりではありませんが、他では味わえない充実感と知識・技術、そして貴重な体験を得ることができるでしょう。



## 2022年度募集ゼミ 定員各20名



いいおじゅん  
**飯尾 淳**

データサイエンスとAIを活用して、**人間の行動や社会の動向に関するデータ分析**を行ないます。例えば、**SNS**で話されている話題、**地方公共施設**の利用実績、個人への情報提供と**行動変**

**容、地域の活性化**などをテーマとして、グループでデータ収集やデータ分析、あるいは**AIを応用したシステム**やWebアプリの開発を行ない、問題解決にあたります。現代社会における**人間とITの関わり方**や、情報システムを使っていかにして**人間の行動や社会の動向を捉えていくのか**を実践的に学んでいきます。自由な発想で、人間の行動や社会活動に関するデータ分析を行いたい皆さんの参加を歓迎、応援します。



さかおり ふみたけ  
**酒折 文武**

データサイエンスとAIを用いた様々なプロジェクトを**グループ**で進めます。スポーツでのデータサイエンスの活用として、**卓球Tリーグ**のプロチームを支援してゲーム分析や選手評価指標の

開発を行うプロジェクト、**硬式野球部**を支援してデータサイエンスで常勝チームを目指すプロジェクトなどを準備しています。また、**eスポーツのゲーム分析**プロジェクトも進める予定です。さらには、世界中のデータサイエンティストが腕を競う **Kaggle等の分析コンペ**で活躍できる実践力を鍛えるプロジェクト、**AIを組み込んだシステム**の構築・実装を行なっていくプロジェクトも用意しています。他では決して得られない、貴重な経験ができること間違いなしです！



なかむら ちかふみ  
**中村 周史**

データサイエンスによる**EBPM**の実践を学んでいきます。EBPMは**客観的根拠に基づいた意思決定、提案、政策形成**のことです。データサイエンスを活用して、社会のどこに問題があり、その原因は何であり、それを実現可能な方法で取り除くにはどうすればよいのかを、分析により明らかにしていきます。例えば、**東京一極集中と地方創生、教育格差、相対的貧困問題、食品ロス、財政・金融問題**など、日本の抱えるさまざまな社会問題をテーマとして扱います。データを活用して適切に意思決定できる力は、官民間問わずあらゆる

ところで求められています。基盤となる経済・統計・プログラミングの知識をしっかりと身につけ、コンペを通して実践経験を積んでいきましょう。



やすの さとこ  
**安野 智子**

**社会調査と比較対照実験**を用いたデータ分析を実践的に学びます。**政治意識、SNSの利用行動、対人的コミュニケーション、価値観、広告の効果、効果的なウェブデザイン**などのテーマで社会調査を企画して、仮説の設定、調査の設計からデータ収集、分析、レポート作成までを行なっていきます。社会調査は、政府やマスメディアが政治や社会への意識を調べたり、地方公共団体が住民の意見を知ったり、企業が商品の認知度やニーズを把握したりなど、人々の「ココロ」を正確に測るために無くてはならないものです。きちんとした調査を設計・分析し、適切な結論を導き出せる人材は広く社会で求められています。そして何より、分析の楽しさをぜひ味わってほしいと思っています。